仏教コース

ディプロマ・ポリシー（DP）

仏教コースでは、本コースのカリキュラムを履修し、62単位の単位修得等の要件を満たし、
次のような能力・資質を備えた人物に学位を授与する。

DP1 建学の理念である温かい思いやりのある心を身につけ、豊かな人間性を有している。
DP2 浄土宗西山派の僧侶としての専門的知識・技能を理解し、活用することができる。
DP3 実社会で起こる様々な問題の解決策を考え、表現し、実践することができる。
DP4 コミュニケーション能力を活かし、地域や社会の一員として協働することができる。

カリキュラム・ポリシー（CP）

本コースでは、ディプロマ・ポリシーに掲げる4つの能力を身につけるために、「基礎教育科目」、「専門基礎科目」、
「専門教育科目」を体系的に編成する。授業科目は、講義、実習、演習を適切に組み合わせて開講する。

CP1 建学の理念である温かい大きな心を育み、豊かな人間性を発揮するため「仏教学概論Ⅰ・Ⅱ」を必修とする。
CP2 「基礎教育科目」では、教養と基礎学力の習得を目的とする。
CP3 「専門基礎科目」では、必修科目「基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」、「総合ゼミナールⅠ・Ⅱ」を通して社会人基礎力の充実を図る。
CP4 「専門教育科目」では、浄土宗西山派の僧侶としての専門的知識や技能を習得し、それらを活用できることを目的とする。

アドミッション・ポリシー（AP）

ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるための条件として、
次に掲げる知識、能力、目的意識、意欲を備えた人物を求める。

AP1 建学の理念を理解し、温かい大きな心を育み、豊かな人間性を発揮することを目指し、成長する意欲がある。
AP2 高等学校等での教育課程を幅広く修得している。
AP3 地域や社会の動向に関心を持ち、知識や情報をもとに自ら考えることができる。
AP4 仏教をひろく学ぼうとする心構えを持っている。
AP5 浄土宗西山派の僧侶として必要な知識や能力、幅広い教養を身につけたいと考えている。